

「人生100年時代」の豊かな学びのために ～生涯学習県民大学講座～

かごしま県民大学中央センター

「かごしま県民大学中央センター」とは

本県の生涯学習推進のための中核施設として、かごしま県民交流センター内に設置されています。市町村・大学・NPO等との連携を強化しながら、調査・研究、学習機会の提供及び人材育成、学習情報の提供等を行っています。

「生涯学習県民大学講座」とは

市町村や大学等と連携して、現代的課題や市町村が抱える課題を解決するために実施する講座です。今年度は県内10市町で26の講座を計画しています。

今回は、昨年度実施した講座の中から「教育・子育て」に関する講座の一つを紹介します。

『「ちゃんと」きく、『きちんと』伝える』

鹿児島純心女子短期大学 森木 朋佳 准教授
[令和元年11月25日(月) 枕崎市会場]

まず、先生御自身の子育て事情をお話いただきました。ホフマンの「しつけのスタイル」を参考に実践していたはずが、そうでないことも多かったとのこと。つい「～させたい!」という気持ちが強すぎた(前のめり)けれども、「子供の理由」を聞いていないことに、絵本を読んで気付くこともあったそうです。

そこで、コミュニケーションについて教えていただきました。コミュニケーションに必要な要素は、応答性、相互性、対等性であり、やりとり上手になることが大切だとお話をいただきました。

また、「きく」と「伝える」を意識的に行うことが大切とのこと。「きく」には、3つの「きく」(聞く・訊く・聴く)がありますが、なかでも「聴く」姿勢が肝要。その上で、

- ①心理的な圧迫感を減らす(横並びの距離感)
- ②空気を読みすぎない(事実と推測を分離)
- ③I(アイ)メッセージ(「私」を主語に話してみる)

の対等性を意識してみるのがよいそうです。



【受講者と対話しながらの講座】

受講者からは、「子供との話し方を考えるI(アイ)メッセージを大切にしたい」、「子供だけでなく、自分以外の全ての人との関わり方を考えさせられた」などの感想が寄せられました。

今年度の講座案内

今年度は、ワークショップを含む防災に関する講座(8/2)、パラスポーツの魅力を通して共生社会を考える講座(8/23)などを予定しています。その一つを紹介します。

「みんなのデザイン」:

行政資料や学校プリントを見やすく、
読みやすく」

千葉大学大学院 片山 なつ 特別研究員

【日時】11月1日(日)10:30~12:00

【場所】かごしま県民交流センター

「UDフォント」をご存じですか。

本講座では、令和の新時代の多様性に配慮した資料の作り方について学びます。文字や配色、レイアウトのルールを知ることで、誰もが格段に見やすい資料を作れるようになります。

受講申込受付中

「生涯学習県民大学講座」は、無料でどなたでも受講できます。

講座一覧等の詳細は、ホームページを御覧ください。

【申込・問合せ先】

かごしま県民大学中央センター

TEL 099-221-6604

FAX 099-221-6640

生涯学習県民大学講座

検索

